



三星



第12号

平成19年3月23日
鹿児島県立
鹿屋高等学校

第五十九回卒業式

三月一日(木) 厳肅な雰囲気の中、第五十九回卒業式が挙行されました。まず、各学級の代表八名に卒業証書が授与され、学校長式辞・教育委員会告示・PTA会長の祝辞と、式は肅々と執り行なわれていきました。

在校生送辞・卒業生答辞もそれぞれの委員会で練り上げた文面で大変感動的な内容でした。また、それを読み上げた代表者二名も堂々とした姿で、この卒業式を重厚なものにしてくれました。卒業の歌、そして校歌斉唱も全学年の生徒達が大きな声で歌い、本当に素晴らしい卒業式になりました。

卒業生三百十四名は、呼名に対し、大きくはつきりとした返事をし、起立・礼・着席も全員が見事に揃って行い、また、在校生もそれに合わせて一糸乱れぬ動きで、来賓の方々からも「鹿屋高校の卒業式は本当に素晴らしい。」とお褒めの言葉を頂きました。

式後は各学級での最後のLHRが行われました。担任から一人ひとりに卒業証書が手渡され、そして生徒達が各自三年間の思いを述べていきました。



一人一人の言葉に学級が爆笑の渦になったり、また、涙で詰まりながら話す生徒も男女問わず多く、聞いている方も思わずもらい泣きをしてしまう場面が多くありました。そして、多くの生徒が保護者への感謝の気持ちを述べ、本当に感動的なLHRになりました。最後に副担任、そして担任からの贈る言葉で終わりましたが、どの学級も二時間前後に及ぶ長時間のLHRとなりました。

LHR後の教室・廊下では、花束贈呈や記念写真撮影・卒業アルバムへの寄せ書きで、賑やかな時間はまだまだ続き、そして、卒業生全員が清々しい笑顔で教室を去っていきましました。学年スローガン「負けるな! 勝て! 勢」の元、頑張った三年間は、きつと卒業生たちの将来に生かされるものとなるでしょう。



高校入試・合格者集合

三月六日(火)・七日(水)二日間にかけて平成十九年度高校入試が行われました。本校では、トラブルもなく予定通り終了しました。

三月十四日(水)午前十一時から本校武道館前で合格者の受検番号が張り出されました。自分や子ども・孫の合格を確認しようと、早くから百人近くの人たちが三々五々集まってきた、お互い喜び合い、写真を撮ったりしていました。

翌日の午後一時から「合格者集合」があり、保護者と共に少し緊張した顔の合格者三百二十名が出席しました。教頭から合格に対してのお祝いの言葉と共に、保護者をはじめとして受検を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れないようにとの話があった後、各部からの説明や入学するに当たっての心構えや準備するものの説明、芸術・体育の選択カードの提出やスリッパ・体育服の提出とあわただしい時間が過ぎていきました。合格者や付き添いの保護者の動きもしっかりとしており、第六十二期生の本校での活躍が予見できるような印象を深めました。



保護者と共に少し緊張した顔の合格者三百二十名が出席しました。教頭から合格に対してのお祝いの言葉と共に、保護者をはじめとして受検を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れないようにとの話があった後、各部からの説明や入学するに当たっての心構えや準備するものの説明、芸術・体育の選択カードの提出やスリッパ・体育服の提出とあわただしい時間が過ぎていきました。合格者や付き添いの保護者の動きもしっかりとしており、第六十二期生の本校での活躍が予見できるような印象を深めました。



最後のクラスマッチ

三月二十日(火)、今年度最後のクラスマッチが開催されました。種目は、男女のバレーボール・サッカー・ソフトボール・卓球と、男子のバスケットボールとソフトテニスでした。

昨日からの雨でグラウンドはぬかるんでおり、午前中はいいコンディションではありませんでしたが、部活動生の懸命の整備で順調に試合が進行しました。

一年生は二年生から文理に分かれ、二年生も三年生のクラス編成が行われることもとも別々になります。そのこともあったのが競技する者、応援する者ともに真剣で、その中に温かさの感じられるクラスマッチとなりました。総合優勝は二年四組、第二位は一年一組、第三位は二年八組でした。各競技の優勝チームは、次のとおりです。

- ・バレーボール優勝男子ー二年四組
同女子ー二年四組
- ・バスケットボール優勝男子ー二年八組
同女子ー二年四組
- ・サッカー優勝男子ー一年一組
同女子ー一年四組
- ・ソフトボール男子優勝ー二年三組
同女子ー一年七組A
- ・卓球男子優勝ー二年六組
同女子ー一年五組



長寿園訪問ーインターアクト

インターアクト同好会では、三月十日(土)に下被川町にある特別養護老人ホームの鹿屋長寿園においてボランティア活動を行いました。当日は、あいにくの雨で、室内での活動にとどまりましたが、いろいろな活動ができて、楽しい時間を過ごすことができました。インターアクト同好会では、今後ますますボランティア活動を活発化していきたいと考えています。

《感想文》

「インターアクトの活動として、三月十日に長寿園に行ってきました。そこは、一つのユニットに約十人のお年寄りの方々と数人のスタッフがいるという体制です。最初にひとりのおばあさんと話をさせていただいたので、そのおばあさんが話される言葉は昔の鹿児島弁だったのでわからない言葉も多く、上手く話せない自分に悔しくなりました。それでも、話している時におばあさんが笑ってくれたのが嬉しかったです。お昼ご飯の配膳をし、自分の昼食も終えた後は、ユニットの中にあるひとりひとりの個室を掃除させていただきました。主に、棚の上やベッド周りを拭き掃除したのですが、印象に残ったのは棚の上においてあった写真や小物でした。ご家族や同じユニットの方々の写真やお見舞いの品と思われる小物。その一つ一つが大事

に飾られていて、とても温かい気持ちになりました。最後にボール遊びをした時も、驚くほど元気なおじいさんやおばあさんと一緒に自分も楽しめたことがとても嬉しかったです。今後、また行く機会が出来る時は少しでも鹿児島弁がわかるようになって、もっとたくさんのお話を聞いてみたいと思います。」『謝敷絵里奈(二年)』



「私は、先日インターアクト同好会の活動として、鹿屋長寿園という老人ホームを訪問しました。いろいろなお年寄りとお話をさせてもらったり、食事の配膳や食器洗いの手伝いをさせてもらったりしました。耳のよく聞こえない方と話す際に、はっきり聞き取りやすい声で話すことが、とても大変だなと思いました。いろいろなお年寄りとお話をし、好きな歌を聞かせていただいたり、描いた絵を見せていただいたり、働いていた頃

の話やお子さんやお孫さんとの思い出を話していただいたりしました。明るくて活動的な方が多いなと感じました。職員の方々は、いつも余裕を持ってお年寄りと接していて、明るくて優しい方ばかりだなと感じました。お年寄りとしっかり信頼関係を築いていて、すぐくつらやましいなあと思いました。もう一度ボランティアとしていく機会があったら、今回よりもっとお年寄りの役に立つように頑張りたいと思います。」『芝原佳代子(二年)』

二・三月の表彰

- ・吹奏楽部・・・第一回大隅地区高等学校ソロ・アンサンブル大会ソロ金賞ー前田めぐみ(二年)、同最優秀賞ー児玉飛夏(一年)
- ・美術部・・・第一回吉井記念曾於市洋画展 高校生部門「吉井賞」ー有留紘代(二年)
- ・書道部・・・第四十五回ひな祭り書道展優秀団体賞、同遊墨賞ー柳井谷麻里(二年)、同南日本新聞社賞ー山下由季(二年)、同南日本書道会賞ー樋高雄将(二年)、同鹿屋市書道教育研究会賞ー西由香子(一年)、行膳舞(二年)、同小倉博文賞ー福岡由佳子(二年)、同尚泉堂賞ー吉水奈保(二年)
- ・男子テニス部・・・第三十八回樋口杯テニストーナメント大会一年男子シングルス準優勝ー律迫啓介、同一年男子ダブルス第三位ー律迫啓介・船隅大樹組・柚木原翔太・本白水翔太組
- (美化コンクール)第一位ー一年三組、同二位ー二年二組、同三位ー一年五組

トイレ清掃ー生徒会など

二月三日(土)の三星道場後に、生徒会執行部の有志とインターアクト同好会のメンバーとで、推薦入試に向けてのトイレ清掃を行いました。入試でやってくる中学生たちに、きれいな環境を提供しようと、みんな一生懸命になって頑張ってくれました。



このように、現在生徒会では、ボランティア活動を充実させようと頑張っています。こういった活動を広めることによって、生徒の皆さんも奉仕活動などに興味を持ってもらえればと思っています。

4月の主な行事

- 6日(金) 始業式
- 9日(月) 第62回入学式
- 10日(火) 対面式・新入生テスト
- 教科ガイダンス(2年)
- 11日(火) レントゲン検診
- 12日(木) ー心臓検診
- 16日(月) ー尿検査
- 18日(水) ー20日(金) 1年生宿泊学習
- 27日(金) 身体測定
- 28日(土) ー29日(土) 学研模試(3年)

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。
<http://www.12.synapse.ne.jp/kanoyakouko>